

介護保険と リハビリテーション

- 162-166

1

介護報酬改定とリハビリテーション

●村井千賀
- 168-171

2

平成 27 年度介護報酬改定と理学療法士

●半田一登
- 172-178

3

介護報酬改定を受けて一活動と参加を支援する作業療法

●土井勝幸
- 180-187

4

通所リハビリテーションの課題と現場に求められていること

●岡野英樹
- 188-193

5

介護保険とリハビリテーションー訪問リハについて

●宮田昌司
- 195-200

6

平成 27 年度介護報酬改定と老人保健施設の役割

●東憲太郎



平成 27 年度の介護保険改正・介護報酬改定は「高齢者の地域におけるリハビリテーションの新たな在り方検討会」での ICF に基づいた、生活期リハの議論が大きく反映している。特徴的には①心身機能の改善からさらに一步進めて、活動・参加支援へ、また②リハ会議の開催と③リハマネジメントの重視などが挙げられる。大きな転換となるであろう。一方で医師の一層のかかわりが求められるなど、浸透していくには時間がかかると思われる。そこで今回は厚生労働省から改定の趣旨を紹介していただくと共に、各関連団体から課題・問題点などについて考察を加えていただくことにした。

企画担当 ● 栗原正紀（長崎リハビリテーション病院、医師）